

# 身障だより

## 響(ひびき)

☆ 一年を振り返って

会長 今 順子

コロナの感染から三年以上の年月が過ぎ、ようやく明るい兆しが見えてきましたね。

それが終わると、待ちかねたように、今度はインフルエンザの流行・・・といつまでたっても、健康を脅かす原因が消えず、本当に困ったものです。

会員の皆さまからは、どちらの感染者も出ていらつしやらないご様子、本当に安堵しております。

三月十三日からは『マスクの着用は個人の判断に委ねる』との政府からの通達がありましたが、回りを見ても、マスクをしていない人はほとんどおりません。

皆さんは安心してマスクを外せますか？私たちが安心してマスクを外せるようになるまでには、もう少し時間がかかるのではと思っております。

皆さんには、以前と同様、手洗い、手指消毒、マスク着用を励行していただき『自分の身は自分で守る』この気持ちをお忘れず、実行していただきたいです。

昨年度はコロナの感染者が多い中でしたが、皆さんのご協力の元、感染

対策を徹底し、事業を無事に終えられましたことは、とても良かったと思っております。

皆さんのお元気な顔が見られ、喜んで帰っていただけたことには、大きな喜びを感じています。

一月には北海道福祉教育専門学校の生徒さんのご支援により、『ポッチャ・ゲーリング教室』も開催しました。

『お楽しみ会』や『新年交流会』が開催できませんでしたので、サザエさんの『かるた大会』も、わずかの時間でしたが、楽しむことができました。

今年の九月には、紋別市で四年ぶりに『全道身体障害者福祉大会・紋別大会』が開催される予定です。

登別大会以降コロナの感染で中止になっていた全道大会だけに、皆さんで紋別大会に参加し、盛り上げていきたいものと思っております。

紋別市でも前日には『交流会』を予定しているようですので、皆さんも楽しみにしていただきたいと思います。



編集発行

登別身体障害者福祉協会

登別市片倉町六丁目九の一 登別市総合福祉センター内

電話番号 090・8632・8099

発行責任者 今 順子

☆令和五年度 定期総会のご案内

令和五年度の定期総会を左記のとおり開催いたします。

詳しくは別紙にてご案内しておりますので、目を通していただけると、嬉し

いです。  
開催日時：令和五年四月二十九日(土)  
開催場所：登別市総合福祉センター  
しんた2・1 2階多目的ホール  
申込締切：四月二十日(木)

・送迎の必要な方はお申し出ください。  
・三月十三日よりマスクの着用が自己判断となりましたが、当協会では高齢の方が多いため、依然と同様、マスク着用の上、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

勝手なお願いで恐縮ですが、年会費の納入もお願ひできますと、幸いです。

また、会食につきましても、もう少し状況を見たいと思っておりますので、昨年同様、お弁当をお持ち帰りとさせていただきます。

皆さまので、ご了承ください。

なお、体調の悪い方は、無理をなさらないよう、ご自分の判断でいらしてくださいませよう、お願いいたします。

ロシアとウクライナの戦争

昨年二月にウクライナに侵攻し、戦争状態を起しているロシアに対し、世界中から非難の声が上がっている。

ロシアのプーチン大統領は一向に手を緩めようとはしない。

ロシア国民はこの状況をどのように見ているのだろうか。プーチン大統領の言うことを信じているのだろうか。誰もが、ロシアのことを非難しているのに、世界中からの非難の声が聞こえないのだろうか。

ロシアの国内では非難めいたことを言うと、すぐに牢屋に入れられたり、殺されたりしているが、ロシアって昔から本当に怖い国だったのだろうか。

『ロスケ』という言葉を聞いたことがあるが、決して良い言葉とは思っていない。やつぱり、ロシアは昔から恐ろしい国だったのかもしれない。

連日ウクライナの建物が破壊され、国民が避難している状況がテレビで報道されている。亡くなっている人も多く出ている。

世界中のだれもが、戦争はダメということくらいは知っているはず。

一日も早く戦争が終わり、平和な生活が送れるよう、祈っている。



☆『月光仮面』はいなくなつた

〜世界からもバカにされた  
ウラ取引 横行の日本社会〜

安藤 文祐

七十代の初老の人物が『受付』窓口で『この町に住んでいる者です。寄付したいのですが…』と、手提げ紙袋の中から百万円束を出した。窓口の男性職員もビックリ。札束は十個積んであり、一千万円の現金だと分かった。

これほど多額の現金を積まれたのは初めての事だという。

担当者は上司に連絡。いろいろ話しているうちに、寄付した意味も分からなくなつた。

それによると、この町に生まれ、一人でやっている。床屋さんだった。結婚の縁もなく、これといった『趣味』もなく、コソコソお金がかたまつてきたという。七十歳代も後半を過ぎ、いつ病気になるもおかしくない…と判断。今のうちに、これまで生活させていたいた町に少しでも恩返しを…と持参したといふことだ。

銀行の方も事情を聞いて、若い行員を同行させたという。

そして最後に、休日の日には、近くにある『幼稚園』に行つて、元気な姿で遊ぶ子供たちを見ることが何よりの楽しみだといふ。

『趣味』を言ふは、これくらいですとのいふ。

『お金のついでなら、このお金は子供たちのために使ひ入れれば幸いです』

立ち去つて行つたという。

いい話ですねえ。本州のある町の話ですが、私なら一千万円がここにあればどうするだろう。高級料理店で友達を呼び集め、『どんちゃんさわぎ』、残つた分で、『宝くじ』と『ロトシックス』、そして、競馬場に行き、『一発勝負…』といふことにならなう。

全く、成長が感じられない。もうすぐお迎えが来ているというのに…。

正義の味方『月光仮面』

我々がかなりの年齢になつても、『立派な人』で知られている。

特に小学校の入学時期が近づくことランドセルや文房具が、どこかの家や施設の前におかれており、今年も月光仮面がやつてきた…と喜ばせてくれたことだ。

しかし、誰しもが、誰であるか知らなかつた。毎年続いたのだが、この春ついに本人の談話が発表された。

それによると、『名乗るほどのことをしたわけでもありません。少しでも役に立ち、喜んでもらえれば…』と続けてきたが、『この春で七十二歳になりました。仕事もやめ、これ以上続けることはできません』と、実名は出なかつたが、心境は十分に伝わつてきた。

大変、苦労しました。

良いことをする人は、なかなか実名は出てこないですねえ。

こんな『日本人』がいるのに、あの東京オリンピックの実行理事の『悪』はひどすぎませんか。人のことを言う資格を持つ人間ではありませんが、あ

まりにもひどすぎる。電通の常務職をやつた人間である。広告メーカーのトップ企業で、テレビラジオ・新聞・雑誌などの宣伝広告を行う企業で、どんな業界でも知らぬ人はいないはずである。各企業が億単位のお金を出し、宣伝を任す会社なのである。

特に関東の大企業は、殆ど任せきりである。関西地区には博報堂があるが規模が違う。

数千万円単位で各業界から受けていた。世界のオリンピック関係者もとより、個人的にも、『あの立派な日本人が…』と驚いたことであろう。

私も仕事を通じ、過去に、『やつた』もらつたという事件の取材を何度かやつたことがある。『もらつた方も悪いが、やつた方がさらに悪い』と感じることがあつた。やつた方は、この人であれば、やつた一倍以上のものが返ってくると、判断した場合、その人に近づき無理やり、お金品物を受けてくれるようにするものです。オリンピックの場合、公金である。

冬のオリンピックは、『札幌で』と呼びかけ運動する前に、逆にオリンピック本部の方から、断られてしまった。全世界の笑いものである。我々の日常の生活にも、こんなケースがたかさんあるのですよ…。

『自分の地位を高めるために』『自分が強くなるように』『自分が勝つように…』などのために、『物』のやり取りが行われるのです。

『自分の身分を超えたものを贈られた場合、何かがあるものなのですよ。』

『人生には、ウラがあるのです。』



\*\*\*好きな言葉\*\*\*

\*どんな努力も幸せなら

みんなで幸せになろうよ

人間だもん!!!

\*やつてやれないことはない!

やらずにできるわけがない!

\*『はたらく』とは、『はた(傍)』

が『らく(楽)』になることです。

誰かを楽にすることで、自分もらくになります。

\*一寸先は光だ!

明日がたのしみだなあ!



☆ 『幸せ気分』

皆さんはきょう一日をどんな気持ちで過ごしましたか？こんなことを考えたことありましたか？

私は『きょうの良いこと、楽しかったこと』を一日の反省として、思い出すようにしています。

当たり前の様ですが、『不幸を自慢にしないこと』を自指しています。

『腕が痛い・足が痛い・腰が痛い…』こんなことを聞いても、回りの人は何も楽しいことはありません。同情を求めても、痛いことには変わりはないのですから、こんなつまらないことはやめることにしました。

そこで、『きょうの良いこと、楽しかったこと』を思い出すと、何かとても幸せな気分になれると知りました。そうすることで、聞いている人も、幸せな気分になれると感じました。愚痴や泣き言は『幸せ』の天敵だとも思うようになりました。

皆さんもたった今から『きょうの良いこと、楽しかったこと』を思い出して、『幸せ』な気分になってみませんか！



☆ やったー！ 侍ジャパン  
〜すこいぞ 日本世界一〜

四年に一度の開催である WBC (世界ベースボールクラシック) が開催されました。

球場が日本からアメリカに移り、熱の入った試合は、テレビの前で大声で声援と拍手を送りました。

いつも家にいるときは一日中テレビはつけていますが、何十年ぶりにテレビの前で大声で応援した事でしょうか。

メジャーリーグの大谷選手、ダルビッシュ選手、吉田選手等が日本チームのリーダーシップをとり、大活躍しました。

栗山監督の愛弟子の大谷、ダルビッシュ、近藤、伊藤選手は、口をそろえて『栗山監督を胸上げたい！』と快くチームの一員として、帰国しました。

最強のメンバーを率いて試合に臨んだ『侍ジャパン』

いつもは何かしら仕事をしながらのテレビ観戦ですが、この大会だけはテレビの前に釘付けになりました。

一人、テレビの前で大声で応援したり、拍手を送っている自分にびっくりしています。

予選は順調に勝ち進み、いざ準決勝へ。ラスラドキドキの試合展開に、手に汗握る興奮状態。追いつ追われつシリーズゲームで最終回を迎え、一時も目が離せない状況。

お彼岸のお中日で、お寺へお参りに行くのも忘れて、結局最後までテレビ観戦。

『やりました、日本！』『打ちました！村神様！』

苦しいゲームの中で、本来の力を出せずに苦しんでいた村上が、ようやく打つてくれました！

苦しんでいた村上を最後まで温かく見守っていたのが栗山監督だったそうです。このようなところにも栗山監督の人間性が出ていると思いました。

劇的なサヨナラヒットで、最高のゲームで頑張ってくれた選手の皆さんと共に心から『嬉しい！』と思える素晴らしい準決勝でした。

三月二十二日の試合はいよいよ決勝戦です。対戦相手は予想通り、強豪アメリカです。

総力戦で投打に全力で戦っています。ピリピリした緊張感の中で、テレビから目を離せなくなりました。

バツティングの勘を取り戻した村神様のホームランに続き、岡本もホームラン。一対三の日本チームリードのまま七回を迎えた。

八回表からは投手ダルビッシュ。試合は残念ながらホームランを打たれて、三対二と二点差まで追い込まれた。

九回表では、投手大谷と、最高で最後の大舞台で夢のような試合とも言えるゲームに、私の興奮状態も最高潮。今回のWBCは大谷に始まり、大谷で終わる…という歴史的な展開になりました。

二十歳のルーキー高橋投手から、三十六歳の重鎮ダルビッシュ投手まで、本当に素晴らしい試合でした。

楽しい時間をありがとうございました！

『侍・ジャパン、あはれ！』この瞬間に立ち会えたことで、きょう一日、気持ちもルンルンで過ごせました。たぐさんの感動もいただきました。日系人のヌートバーの活躍も日本中を喜ばせてくれました。

何よりも栗山監督の嬉しそうな顔がこの試合の大変さを物語っていました。

『侍・ジャパン』の皆さま、栗山監督はじめスタッフの皆さま、本当にお疲れさまでした。

十四年ぶりの『世界一』、本当におめでとうございませう！



『侍・ジャパン』優勝！！



全日本・栗山監督

☆ 簡単クッキング

《漬けマグロのピビンバ》

\*材料 (一人分)

・マグロの漬け・・・80g

・ごはん・・・適量

・ほうれん草・・・50g

・豆もやし・・・50g

・A・・・ごま油・・・大さじ1

塩・・・小さじ4分の1

にんにくのすりおろし・・・少量

・卵黄・・・1個

・白ごま・・・適量

\*作り方

①マグロの漬けは1.5cm角に切る。

②耐熱容器に4〜5cmに切った

ほうれん草、豆もやしをいれて

ふんわりラップをかけ、電子レ

ンジで2〜3分加熱する。

水けをきり、Aを加えて和え

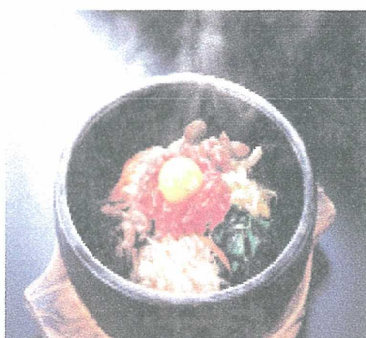
ナムルを作る。

③どんぶりにご飯を盛り、ナムル、

マグロ、卵黄をのせて白ごまを

振りかける。

\*簡単で、ボリューム満点で、しかも美味しいピビンバです。



☆ フクロウの豆知識

神秘的な霊力を持ち、幸運を呼び込

む力が強いと信じられてきたフクロウ。

世界各国であがめられ、大切にされて

きました。

古代ギリシャでは、真意の守護女

神・宛名のつかいとされ、全知全能の

英知を象徴する『学問の神』

メキシコや中南米では、家や家族、

富を守護する存在として生活に身近な

『守り神』。

エジプトでは、ピラミッドにも描か

れた聖なる存在で、死から守ってくれ

る『神秘の精霊』。

私たちの住む日本では、日本書紀に

も記されている『幸運を呼ぶ鳥』。

特に北海道では、アイヌの人たちの

間で、村や国を守る最も偉大な神様(カ

ムイ)として、信仰されています。

名前に様々なおめでたい漢字が当て

られるなど、親しみをもって、広く愛

されています。

アイヌの人たちにとっては、特別な

存在ともいえるでしょう。

フクロウを漢字で表すと、『福来』、

『福籠』、『福朗』、『不苦勞』、『福老』

『富久老』などがあります。

どの言葉も『福』につながっています。



【短歌】

\*今田 ヒデ子

・物失せて呆けたとは思いたくなし

さればとて他人のせいとも思わざり

・長電話終わりし後も高ぶれる

友の言葉が耳に残れる

【川柳】

\*今 順子

・晴れた日に幸せ感じる春つらら

・できること少なくなりて老いを知る



【数独】

今月号もお楽しみみの数独問題です。

挑戦してくださいね！

皆様の二応募、おまちしております！

	1			2				9
	9		4			3		
3				1			5	
	3							8
		4		9		2		
5							4	
	5			2				4
		9			8			7
8			6					1

《編集後記》

本州では桜の開花が真つ盛り！

北海道はまだまだ雪の山があちこち

に.....

一日も早い春の訪れが待ち遠しいこ

の頃です。

先日、旭川市で開催された『ポツチ

ヤ大会』に、事務局長の荒木さんと一

緒にお手伝い方々、見学をさせていただ

きました。

コロナの状況を鑑み、人数も参加チ

ーム数もしほり、コロナ前の大会より

は規模の縮小を取る大会でした。

それでも参加チームは四十八チーム

(二チーム三名)と応援者・サポータ

ー等二百名ほどが集まり、熱気ある大

会に、少しでも関わられたことを嬉しく

思っています。

常連のチームから高齢者施設のチー

ム、子供たちのチーム、販売業者のチ

ーム、市外からの参加者等まで、幅広

い参加者がありました。

協賛してくれる企業や、店舗・会社

等もたくさんあり、賞品等にも趣向を

凝らしたものが多く、とても和やかな

大会でした。

以前から考えているのですが、この

ような大会を登別市でもできないかと

何年も前から模索中です。

私が生きているうちにやりたい夢

の一つです。

是非、実現したいです！

(今 順子)